

9/6
(日)

自分を傷つけずには いられない 子どもたちの支援

企画講師

国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部
部長

松本 俊彦 先生

日時

2026年9月6日(日)
9時30分～16時50分

費用

8,500円 (税込)

定員

60名

会場

明治安田こころの健康財団 講義室
住所：東京都豊島区高田3-19-10
JR山手線、西武新宿線、
東京メトロ東西線「高田馬場駅」より
徒歩約7分

申込

財団HPより申し込み受付
期限：9月4日(金)まで

スタンダード講座7



◆当財団は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として
(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会(ワークショップ)」の承認を
受けております。 <承認期間:2022年7月2日～2027年7月1日 承認番号:20210392>

自分を傷つけずにはいられない子どもたちの支援

いま、学校や児童福祉の現場では、子どもたちのリストカットや市販薬オーバードーズといった「故意の自傷」が大きな問題となっています。それと平行するかのよう、児童生徒の自殺も増加傾向に歯止めがかかりません。なるほど、「故意の自傷」と自殺とは異なる現象ではありますが、両者は決して無関係ではありません。

今回の講座では、まず、リストカットや市販薬オーバードーズの現状、ならびにそのメカニズムや自殺との関係について理解を深めます。さらに、こうした「故意の自傷」に関して、学校や児童福祉の現場で何ができるのか、あるいは、市販薬を販売するドラッグストアでどんな取り組みができるのかについて考えてみたいと思います。

【企画講師：松本俊彦】

時間	テーマ／講師（敬称略）
9:30～ 10:50	リストカットとオーバードーズの理解と対応の原則／松本 俊彦 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 部長)
11:00～ 12:20	じぶんを傷つけずにはいられない子どもの治療と支援／菊地 祐子 (社会福祉法人子どもの虐待防止センター 子どもと家族のメンタルクリニックやまねこ)
12:20～ 13:20	～ 休 憩 ～
13:20～ 14:40	市販薬のオーバードーズがやめられない子どもたちの理解と予防・支援／ 嶋根 卓也(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部)
14:50～ 16:10	子ども自殺予防～子どもの権利とウェルビーイングの視点から／ 山口 有紗(子ども虐待防止センター 国立成育医療研究センター)
16:20～ 16:50	ディスカッション／講師全員

<注意事項>

- ・時間割・テーマ等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本講座は当日の講義を収録し、後日オンライン配信をいたします。すべてのプログラムについて撮影ならびに録音を行うため、カメラに映る可能性があること、また質疑応答等でお話いただいた内容が配信されることをあらかじめご了承ください。

【主催】公益財団法人 明治安田こころの健康財団

【照会先】 〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10 E-mail: moushikomi@my-kokoro.jp

TEL: 03-3986-7021 FAX: 03-3590-7705